

令和元年度版札幌市環境白書に係る環境審議会での主な意見と対応

質問・意見	回答・計画への反映
各施策等の評価について	
<p>環境基本計画に関わる各個別計画が何を指している、現状との差がどのようになっているかを分かるようにしてはどうか。(各個別計画と紐付けし、分かりやすくまとめてはどうか) 【石井副会長】</p>	<p>第2章各節(環境基本計画における各施策の柱の実績等)において、主な関連計画の概要及び当該計画における目標・指標の進捗状況について掲載することとした。 また、その上で、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。</p>
<p>・ どのような観点で各施策や個別計画を評価するのか、評価の原則(基準・評価記号の根拠)のようなものを、表上部の説明書きに加えるなり、表の右に列を加えるなりして記載した方が良いのではないかと。 【遠井委員】 ・ 各関連個別計画の目標及び指標の達成状況の表について、ただ表だけを最後に示すのではなく、「何をすれば○から◎になるのか」等、環境基本計画を進める上での課題等に係る説明(考察)が必要かと思う。【石井副会長】</p>	<p>第2章各節において、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。 なお、各節において、関連計画の概要と、目標・指標の進捗に係る表についても併せて掲載することとする。</p>
<p>現場から出てきた問題と目標との間で乖離がある場合、それが発生した原因についても記載してはどうか。【遠井委員】</p>	<p>第2章各節において、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。</p>
白書の記載内容について	
<p>第1章(世界、日本の状況)をもう少し詳しくし、様々な分野のトピックを入れてはどうか。【石井副会長】</p>	<p>第1章第1節「世界、日本の状況」についての記載を充実させるとともに、トピックを追加した。</p>
<p>市として白書のどこを読んでほしいのか、意図が伝わるような要約を記載してはどうか。【山中会長】</p>	<p>記載内容の重要な部分や要点をまとめた概要版を発行するとともに、冒頭「札幌市環境白書の発行にあたって」の中でも、白書の性質や概要等について記載する予定。</p>
<p>「札幌が目指す将来像」(第2次環境基本計画の第3章)についての記載がないので、理念やSDGsとの関係などを記載してはどうか。【石井副会長】</p>	<p>第1章第1節「(3) 計画の体系」において将来像を含む計画の体系を示すとともに、「(4) 計画におけるSDGsの位置付け」の項目を新設し、計画の推進とSDGsの関係を記載した。</p>
<p>環境基本計画の各柱に対して関連するSDGsのゴールが紐づけられているが、それに対する評価はどう行うのか。【遠井委員】</p>	<p>第2次環境基本計画では、SDGsの考え方を取り入れ、施策の推進にあたり複数分野の課題の同時解決やあらゆる主体の連携等の視点を重要視することとしており、基本計画で示す施策(の方向)を推進することで、計画の目標や指標のみならずSDGsの達成へもつなげていくこととしている。 今回の白書では、第2章各節において、施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととした。</p>
<p>環境基本計画の施策の柱3「資源を持続可能に活用する循環型社会の実現」について、食品廃棄物や廃プラスチック対策の内容を入れてほしい。【宮内委員】</p>	<p>第2章第3節において、食品廃棄物対策に係る実績、課題等を記載することとしている。 また、プラスチック対策について、令和元年度版環境白書は、基本的に平成30年度の実績、課題等を記載するものであるため、実績等としての記載は難しいが、第1章第1節「世界、日本の状況」においてトピックとして記載する予定である他、第2章第3節中のトピックとして令和元年度の取組を掲載するか検討中。</p>
<p>豊かな自然等、札幌ならではの環境の魅力や、課題を訴える内容を入れた方がよい。また、森林や生物多様性をはじめ、周辺市町村との関わりについても言及するべきではないか。【有坂委員】</p>	<p>第1章第2節に、札幌市の地勢や気候等についての記載を盛り込んだ「1 市の概況」の項目を新設し、札幌市の環境の魅力について言及することとした。</p>
<p>市民にも分かりやすい表現にしてほしい。【遠井委員】</p>	<p>分かりやすい表現になるよう配慮する。(引き続き校正を行う。)</p>
白書の検討の進め方について	
<p>白書は札幌市の責任で作成し、審議会からは適宜意見を述べるといふ形になると思うが、完成形だけをいきなり見せるのではなく、途中段階の情報を都度審議会に出してほしい。 なお、できれば今年度白書に意見を反映してほしいという気持ちもあるが、難しいものもあると思うので、次年度以降にうまく反映できるようにコメントとして残すということをしてほしい。そうして、複数年で完成度を上げていければよい。【山中会長】</p>	<p>審議会でのいただいた意見は資料として残しており、第3回会議までいただいたご意見等を踏まえ修正を行った白書(案)を、今回の第4回会議で提出させていただいた。 可能なものは随時対応させていただくが、難しいものについては、次年度以降への課題として整理させていただきたい。</p>
<p>今後白書を担当する職員が変わったとしても、評価の仕方等が後任にしっかりと引継がれるよう、説明書及びガイドラインのようなものにまとめておいた方がよいのではないかと。【遠井委員】</p>	<p>第2章各節において、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。 なお、内部資料としての担当職員向けガイドラインの作成については今後検討する。</p>
<p>環境白書上に表現しなくともよいが、審議会からの意見については、なんらかの形で各事業所管部署へフィードバックしてほしい。また、それに対する札幌市の対応について、環境審議会にもフィードバックされるような仕組みを考えていただきたい。【石井副会長】</p>	<p>環境審議会からいただいた意見は各担当部局へフィードバックするとともに、札幌市の対応(実績、課題認識等)については、白書第2章第3節において実績、課題等を掲載し、審議会へ報告することを検討している。 今年度においては、スケジュール上、全ての施策の方向に係る実績、課題等をご確認いただくのは難しいかもしれないが、次年度以降、全施策の柱についてご意見をいただきたいと考えている。</p>